

# 『日本の野鳥カレンダー2018』



## 作者のコメント

Photographers' comments



作者の撮影コメントやエピソードを掲載しています。カレンダーの写真とご一緒にお楽しみください！

### 表紙

表紙：スズメ                      学名：*Passer montanus*  
英名：Eurasian Tree Sparrow  
撮影：福島 千枝子              撮影場所：愛知県 東浦町

菜の花が、小高い丘を黄色の世界に染めています。赤い肉腫を花の間からチラチラ見せて歩き、突然縄張り宣言するキジ、花の上でさえずり、そのまま空に舞い上がるヒバリ、のんびりするホオジロやカワラヒワ、などお馴染みの顔が揃います。スズメたちも暫く休憩、チュン！とつぶやきました。スズメが華やいで見えたひとときでした。



### 1月

1月：シロハラゴジュウカラ      学名：*Sitta europaea asiatica*  
英名：Eurasian Nuthatch  
撮影：大谷 重晴              撮影場所：北海道 音更町

突然、目の前の木に止まったシロハラゴジュウカラ、降り続く雪を眺めているような表情が印象的で、カメラを構えた途端に飛んで行くのではないかと思いつつ慎重に撮影しました。普段見慣れた野鳥ですが、この瞬間に出会えたことに感謝。



## 2月

2月：ウミアイサ 学名：*Mergus serrator*

英名：Red-breasted Merganser

撮影：宮沢 安二郎 撮影場所：北海道 標津郡

氷に閉ざされた冬の港、わずかに開いたスペースにウミアイサが浮いていました。やがて、氷の上に上がってきましたが、まるでスローモーション映画を見るような、ゆっくりとした動きを撮影しました。その遅い動きは厳寒を生きる野鳥の厳しさも感じさせてくれました。



## 3月

3月：トラツグミ 学名：*Zoothera dauma*

英名：Scaly Thrush

撮影：松廣 浩二 撮影場所：愛媛県 松山市

いつも通っている公園に、毎年トラツグミが数羽越冬にやってくる。その中でも、この個体は極端に警戒心が少なかった。驚くことに、じっとしていると足元までやってきた。そこで、広角レンズで環境と一緒に撮ってみようと思い、じっと待っていた。そして、驚かさないようにそっとシャッターをきった。それでも知らん顔。



## 4月

4月：ヒヨドリ 学名：*Hypsipetes amaurotis*

英名：Brown-eared Bulbul

撮影：鶴見 直也 撮影場所：栃木県 宇都宮市

都市公園の河津桜は見頃を少し過ぎたものの、野鳥たちはまだまだ活発に花から花へと飛び回っていました。そんな中、日陰になった桜の中で1羽のヒヨドリがジッとしています。いかにも止まりやすそうな枝ぶりに、食休みをすることにしたのかもしれません。

ひとときの寛ぎをそっと撮影させてもらいました。



## 5月

5月：ハチクマ 学名：*Pernis ptilorhynchus*  
英名：Honey Buzzard  
撮影：小林 健三 撮影場所：岡山県

春のハチクマ渡来時に姿を見せるアカシアの林では、数個体が顔を合わせる事もある。接近しても争わず、協力して蜂巣を襲う習性的一端をみる思いがします。又、羽衣や虹彩の多様性には驚かされます。



## 6月

6月：アマサギ 学名：*Bubulcus ibis*  
英名：Cattle Egret  
撮影：松廣 浩二 撮影場所：愛媛県 松前町

梅雨の時期で小雨が降る中、タマシギを探して車流していた。すると田んぼの畔に、アマサギの群れが休んでいた。

白から垂麻色まで、色のバリエーションが面白かった。眠っていたり、羽づくろいや頭かきをしていり、動きにもバリエーションがあった。真正面からでは面白くないので、畔を対角線に配置して撮ってみた。



## 7月

7月：エゾヤマセミ 学名：*Megaceryle lugubris pallida*  
英名：Crested Kingfisher  
撮影：山口 健一 撮影場所：北海道 知内町

下流から上流に向かって飛ぶエゾヤマセミの番に遭遇。突然対岸の木の上からカワラヒワの群れを襲ったハヤブサに驚き、オスは警戒しメスは魚を咥えたまま倒木の上で固まってしまいました。子供のところに餌を運ぶ途中のようでした。



## 8月

8月：コノハズク 学名：*Otus sunia*

英名：Oriental Scops Owl

撮影：野口 好博 撮影場所：鳥取県 八頭郡

薄暗いブナ林の中、眼が段々と、獲物を追いかける狩人の眼に変わっていきました。声のブッポウソウと言われていたコノハズク、この赤色型は、「クキョ、クキョ」というような声に聞こえました。生息数が少ない赤色型、数を増やして欲しいものです。



## 9月

9月：メジロ 学名：*Zosterops japonicus*

英名：Japanese White-eye

撮影：内藤 滋 撮影場所：北海道 札幌市

吊り花が赤い実を付けた頃、メジロが10羽前後の群で日に何度やってきます。数日後には20羽以上の群れが増え、葉の裏側から見え隠れする所からやっと垂れ下がった赤い実の位置に来てくれました。赤い実の大小により、実を飲み込む時にとっても苦しそうな表情が印象的でした。



## 10月

10月：エゾオオアカゲラ

学名：*Dendrocopos leucotos subcirris*

英名：White-backed Woodpecker

撮影：矢田 和子 撮影場所：北海道 札幌市

紅葉の美しい北海道に憧れて晩秋に時々訪れています。あちこちの森林を散策していると大きなドラミングの音が聞こえてきました。森林に響き渡っています。静かに近付いてみると少し色の淡いエゾオオアカゲラの姿がありました。秋の色に溶け合うように止まっている姿は可愛くて夢中でシャッターを切っていました。





## 11月

11月：ヒレンジャク 学名：*Bombycilla japonica*  
英名：Japanese Waxwing  
撮影：内藤 滋 撮影場所：北海道 札幌市

山のヤドリギの実付が少ない年は、街路樹のナナカマドに早目に移動してきます。このタイミングでナナカマドの紅葉を撮影するのはごく稀で、ヒレンジャクは30羽前後の群れで赤い実を啄むのですが、紅葉の中に紛れ、又直ぐに飛び立つので思う様な構図になりません。そんな中目星を付けていた背景で一瞬撮影する事が出来た。



## 12月

12月：シマエナガ 学名：*Aegithalos caudatus japonicus*  
英名：Long-tailed Tit  
撮影：吉田 幸弘 撮影場所：北海道 札幌市

夜間に降った雪が細かい枝の先まで積もって見事な雪色となっていた。そこにシマエナガが数羽の小さな群れで餌を探しながらやってきた。「ジュリ、ジュリ」と鳴き交わしてあちこち忙しく飛び交い枝移りするので、せっかく積もった粉雪が、シマエナガが小枝に止まったとたんにハラリと落ちてしまった。

